

主 直 日 誌

2月 14日（火） 天候 曇

【実習内容】 調査日課（活餌管理、 漁場調査見張り）

【感想】 本日は一日時化となり、厳しい状況で漁場調査実習を行いました。見張りで双眼鏡をのぞくと見えるのは薄暗い空と白波だけでした。そんな中、朝、夕の2回曳縄にカツオが掛かり、何度か釣り台に出て、竿を出しました。特に夕方のナブラは、曳縄に掛かったカツオは型が良く、船の周りをカツオが跳ねていたので、釣れるという期待と興奮が最高潮になりました。しかし、時化による激しい縦揺れで、立つことすらままならい状態でした。さらに私達のバケ（疑似針）にカツオは見向きもしませんでした。結局、カツオの初釣りとはゆきませんでした。自然が相手なので、このように状況が悪く、なかなか釣れない時があれば、釣れる時もある。一本釣りは時の運や状況というものが大きく影響するものだと実感しましたが、その釣れる機会で力が発揮できるように、日々全ての実習に一生懸命取り組むことが大切であると思います。

予定では調査実習の日数は残り2回です。必ず釣れると切望しながら、前向きな姿勢で船内生活を送っていきたいと思います。

